

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ひのきの里上松 御木曳イベント事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 上松町観光協会 (電話 0264-52-1133 hinoki@avis.ne.jp)
事業区分	その他 (産業の振興及び雇用の拡大)
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,390,138 円 (うち支援金 : 2,712,000 円)

事業内容

木曽地域は良質な木材を産出する文化を持ち、伊勢神宮の遷宮行事も支える。

本年度の斧入式の機会に、御用材の奉送に関する伝統行事「御木曳(おきひき)」を実施し、20年毎の遷宮行事を伝えるべく技術の伝承に取り組む。

また奉祝行事と同時に、木曽ひのき伐採の伝統的な手法「三ツ紐伐り(みつひもぎり)」を記録し、木曽地域の文化と地域の魅力発信のための素材を獲得・活用する。



【駅前を練り歩く御木曳台車】

【目標・ねらい】

- ① 式年遷宮に関する技術文化の伝承と記録、後継者の育成
- ② 木曽ひのきの産出文化を活用した地域PR素材の獲得

事業効果

前回の御木曳行事から12年が経過しており、地域の若い世代が御木曳の行事を体験することで、幅広い年齢層に技術伝承の意識を育むことができた。

夏まつりの「子ども御木曳」には地元から親子約120名、秋まつりの御木曳行事には伊勢市や町内外から300名を超える参加があった。

木曽ひのき天然木を手作業で伐採する「三ツ紐伐り」や関連行事を一部始終記録し、非常に解像度の高い映像素材を残すことができた。町内外で後世の職人の育成や文化伝承の教材として活用し、地域PRに役立てたい。

※自己評価【B】

【理由】

伊勢神宮の御用材産出は減多になく、貴重な機会に地元の人材育成と数々のデジタル記録を得ることができた。
記録の活用が今後の課題。

今後の取り組み

御用材を奉送した伊勢神宮は、年間800万人を超え、インバウンドでも人気のスポット。20年に1回の遷宮行事は話題性も高く、海外来訪者の関心も非常に高い。

今回の事業では、木曽ひのきの産出に関わる地元の熱意や技術が色濃く記録されており、地域の魅力を発信する魅力が豊富。インターネットや観光情報拠点での発信素材や、地元の文化伝承人材への教材として、それぞれの分野に向けて編集し、活用したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある